

# とよた 市議会 だより

9月市議会  
定例会号  
平成24年10月15日

ファイルNo.  
112

歳出総額 2,456億円(一般会計:1,635億円、特別会計:571億円、企業会計:250億円)

## 平成23年度一般会計を始め14件の決算を認定しました

(仮)第2浄水小学校を新築

## 浄水地区の児童数の増加に備え、新設校を建設します



ピックアップ  
TOPICS  
トピックス

### 小原地区 川見<sup>せんみ</sup>四季桜の里 (写真は昨年の様子)

#### 渋滞の解消に向けて

約1,200本の四季桜が咲き誇ることで全国的にも名高い「川見<sup>せんみ</sup>四季桜の里」には、毎年多くの観光客が訪れます。「上仁木<sup>かみにぎ</sup>駐車場」と「川見<sup>せんみ</sup>駐車場」を整備し、11月1日からの1か月間、期間限定の有料駐車場として条例に位置づけ、観光シーズンにおける交通渋滞の解消をはかります。

- トップインフォメーション  
議員の仕事 ～行政視察編～ ..... 2
  - 議案説明・討論  
条例の改正・工事請負契約など ..... 4
  - 議案審議結果 ..... 5
  - 常任委員会 付託案件・陳情を審査 ..... 6
- ### 市政について問う!
- 一般質問 24人の議員が質問 ..... 8
  - トピックス  
地域市議会報告会・市民シンポジウムなど ..... 12



# 議員の仕事



## 行政 視察編

6月定例会号では、議会の中心的な活動である本会議をご紹介しました。しかし、議会・議員の活動は、議場や会議室だけにとどまりません。今回は、7月に行われた5つの常任委員会の行政視察について、概要を報告します。

### 企画総務委員会

視察日	7月17日(火)～19日(木)
視察場所	神奈川県川崎市／千葉県流山市 東京都三鷹市
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資産マネジメントプランの取組</li> <li>・シティーセールスの取組</li> <li>・ICT事業継続計画</li> </ul>



流山市では、企業と提携することで市が費用負担することなく、駅自由通路に4台の大型電子掲示板を設置した事例の説明を受け、民間活力を利用したシティーセールスの取組を学びました。

### 生活社会委員会

視察日	7月17日(火)～19日(木)
視察場所	兵庫県西宮市／大阪府豊中市 京都府京都市／滋賀県大津市
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災者支援システム</li> <li>・救命力世界一宣言</li> <li>・京都市消防活動総合センター</li> <li>・大津市防災対策推進条例</li> </ul>



西宮市では、阪神・淡路大震災で被災者支援や復興に大きな力を発揮した、被災者支援システムの説明を受け、災害発生時の各種手続きや支援など、一連の情報管理の必要性を再確認しました。

### 教育次世代委員会

視察日	7月17日(火)～19日(木)
視察場所	千葉県袖ヶ浦市／神奈川県綾瀬市 東京都新宿区／東京都練馬区
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブ</li> <li>・デジタル教科書の全小中学校への配置</li> <li>・地域協働学校</li> <li>・保育所待機児童対策</li> </ul>



綾瀬市では、デジタル教科書の活用事例や吊り下げ式のプロジェクターと大型スクリーンの採用によって、より安価にハード整備したことなど、教育環境のデジタル化の事例を学びました。



環境福祉委員会	
視察日	7月17日(火)～19日(木)
視察場所	東京都足立区／埼玉県川越市 栃木県日光市
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援施策</li> <li>・環境プラザ「つばさ館」</li> <li>・ラムサール条約登録湿地の保全</li> </ul>



川越市では、廃棄された家具や自転車などを修理して、市民にお譲りするリサイクル工房を訪れ、今後の取組の参考とするため、実際の作業を見ました。

産業建設委員会	
視察日	7月24日(火)～26日(木)
視察場所	愛媛県松山市／愛媛県西条市 岡山県倉敷市
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民協働によるまちづくり</li> <li>・6次産業</li> <li>・企業誘致施策</li> </ul>



松山市では、約600mある銀天街商店街のアーケードなどを歩き、今後の市街地再整備に向けて、官民協働のまちづくりについて学びました。

視察後は、意見交換会を開催し、調査事項に対する委員間の情報共有をして、理解を深めました。その成果は委員会の視察報告書として取りまとめ、所管の部局へ情報提供をしたり、本会議や委員会での質疑や提言をとおして、市政に反映をしていきます。

視察報告書は、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）でご覧いただくことができます。

このほか、議会運営委員会（10月24日(水)～25日(木)）、議会活性化推進特別委員会（10月30日(火)～11月1日(木)）、都市活力向上特別委員会（11月6日(火)～8日(木)）が行政視察を予定しています。

## その他

行政視察以外にも、研修会への参加などをとおして、視野を広げ、見識を高めるための活動をしています。

第1回 豊田市議会 全議員研修会	日 に ち	／平成24年8月2日(木)
	テ ー マ	／これからの地方行政のあり方
	講 師	／帝京大学経済学部 地域経済学科教授 内貴 滋 氏
	場 所	／豊田市役所 南71委員会室

平成24年度 尾三十一市議会議員合同研修会	日 に ち	／平成24年8月7日(火)
	テ ー マ	／これからの地方議会改革のあるべき姿
	講 師	／専修大学教授 小林 弘和 氏
	場 所	／日進市民会館 大ホール



# 条例の一部改正、工事請負契約の締結など16議案を議決

主な案件名	内容
<p>条例の一部改正</p> <p>【第97号】 火災予防条例の一部改正条例</p>	<p>電気自動車等の普及に伴い、充電インフラの整備に必要となる急速充電設備を「火災発生のおそれがある設備」として対象火気設備等に追加して、設置する際の位置や、構造及び管理に関する基準を定めます。</p>
<p>工事請負契約の締結</p> <p>【第101号】 (仮称)第2浄水小学校新築工事</p>	<p>区画整理事業により児童数の急増が見込まれる浄水地区に、浄水小学校の分離新設校を建設し、教育環境の充実を図ります。 契約金額は14億3,850万円 平成26年4月の開校を目指します。</p>

## 討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

### 諸 派 根本美春

議案92号は、土地の価格が下落している中で、簿価と時価の差が大きいたことが問題となっており、購入して未利用地となっている土地の時価の評価を行う必要性はあるが、都市整備公社の精算にともなって処分すべき財産を都心整備基金に積み増しすることについては妥当な判断であると認め、賛成。

承認11号は、保険あって介護なしと言われる問題を残したままである点で、承認14号は、政府が廃止すべきと言っていたものを先送りし、保険料の負担が増大している点で、反対。

### 公 明 党 鎌田ひとみ

承認3号は経常的経費の増加で苦しい事業運営の中、地域活性化、雇用、子育て施策に取り組んでおり評価をする。教育委員会の点検評価は、厳しい財政状況下で複数の外部知見を活用した新たな手法で点検を実施し、事業見直しで成果をあげた。無駄を徹底的に省き、効率的で効果的な市民サービスのさらなる推進を図るためには、行政効果を評価する新しい手法が重要。今後は本市独自に点検・評価を部門別に、具体的に検討することを期待し、賛成。

### 諸 派 岡田耕一

議案104号は、老朽化した児童・生徒の机・椅子2,569セットを2,800万円余で取得するに当たって、財政状況が厳しい中、県交付金として、あいち森と緑づくり事業交付金1,800万円余が活用されることを高く評価し、賛成。

議案105号のジュゼッペ ペノーネ作品を作家本人から3,950万円で購入することは、市民の理解が得られれば賛成だが、経済が好転しない状況下で高額美術品の購入に対して多くの市民から厳しい声をいただいた。よって、現状では市民理解が得られないと判断し、反対。

### 諸 派 青山さとし

議案94号は、小原四季桜まつり期間中の11月1日から30日まで、市営駐車場として料金を徴収することに合わせ、雇用の促進、地域活性化、渋滞の緩和・解消の対策として有効であり、観光分野でも必要である。多くの人に小原四季桜まつりを堪能してもらうことを期待して、賛成。

議案103号は、園舎の改築工事における園児、保護者らへの安全に対し、最大限の注意を払うことと、こども園における生活や隣接する小学校の授業への配慮を行うことを願い、賛成。

### 市民フォーラム 吉野博子

議案106号は、利益処分の考え方、繰越利益剰余金19億円余を、不測の事態発生や、簡易水道事業の全経営統合時に懸念される経営悪化による欠損対応などのために留保することが確認できた。今後も、先を見越した経営判断により、着実に安定した水道事業運営を期待し、賛成。

承認4号は、平成23年度の実質収支は黒字となっているが、一般会計からの繰り入れや基金を取り崩している現状を認識する必要がある。今後は、医療費適正化への取組を進めるとともに、国保事業の安定経営に向けた努力に期待し、賛成。

### 自民クラブ 日恵野雅俊

承認3号は、財政の健全性を示す指数が単年度財政力指数1.103%、経常収支比率82.2%、自主財源比率68.7%といずれもポイントを落としているものの、各比率は依然健全性の高いものとなっており、健全な財政構造を保持しているため、賛成。

承認9号は、この水道水源保全基金を活用し、水源となる森林の取得や間伐事業、高度合併処理浄化槽転換への助成を実施するなど有効に活用されている。今後もこの事業が効果的に展開されることを期待し、賛成。





9月12日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で行いました。  
委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

## 産業建設 委員会

9月20日、付託された1議案を審査し、全会一致で承認しました。

## 環境福祉 委員会

9月21日、陳情1件を報告しました。

## 教育次世代 委員会

9月24日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情4件を報告しました。

【第101号】 工事請負契約の締結  
（〔仮称〕豊田市立第2浄水  
小学校新築工事）

**質問** 平成26年1月の完成引き渡しまでの事業における市内業者の活用はどのようか。

**答弁** 今後の関連工事は、給排水衛生設備工事、空調設備工事、ガス設備工事、太陽光発電設備工事及び外構整備工事があり、ガス設備工事以外は、全て市内業者に発注予定である。



【第104号】 財産の取得  
（児童生徒用机及び椅子）

**質問** 低価格の理由は、天板の材質を従来の20層に限定せず、1層から多層としたことから参入業者が増え、競争原理が働いたと聞いたが、従来の品質は確保されるのか。また新JIS規格への更新について、契約単価が下がったことから、前倒して更新する可能性はあるか。

**答弁** 今年度も昨年同様に、天板が20層構造の机が納入される予定である。また、前倒して更新することについては、県の交付金動向、市の財政状況、他事業との優先順位づけを考慮して総合的に判断する。

## 生活社会 委員会

9月25日、付託された6議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第94号】 豊田市有料駐車場条例の  
一部改正条例

**質問** 駐車場の利用時間が午前9時から午後4時となっているが、利用時間外に駐車した場合の使用料の取扱いはどのようか。また、周辺の駐車禁止対策はどのようか。

**答弁** 午前9時の段階で場内の見回りを行い、その時点の駐車車両を料金の徴収対象車両とする。この車両について、午後4時までに料金が徴収できない場合は、車両ナンバー等から使用者を特定し、後日対応したいと考えている。周辺の駐車禁止対策としては、駐車場の管理委託をする地元団体や警備会社等と協力し、違法駐車を排除するよう努めていく。

【第97号】 豊田市火災予防条例の  
一部改正条例

**質問** 今回、対象火気設備等の対象として追加された電気自動車等の急速充電設備は、今後普及が進むことが予想される電気自動車等の普通充電設備とどう違うのか。

**答弁** 普通充電設備は、家庭用と同じ100ボルトまたは200ボルトの電気を使用する充電装置で、充電完了までにおよそ5時間から最長28時間の長い時間を要するため、長時間駐車する住宅や事業所などへの設置に適しているとされている。一方、急速充電設備は、最大500ボルトの電気を使用し、およそ15分から1時間程度の短い時間で充電が完了する。そのため、短時間充電を必要とする高速道路のサービスエリアや商業施設などへの設置が予想される。

【第106号】 平成23年度  
豊田市水道事業会計  
未処分利益剰余金の処分

【第107号】 平成23年度  
豊田市下水道事業会計  
未処分利益剰余金の処分



**質問** 地方公営企業法の一部改正により、利益の処分に係る減積積立金への積み立ては条例又は議決によるとされたが、今回、未処分利益剰余金の処分を条例によらず議決とした理由は何か。

**答弁** 平成26年度には地方公営企業会計制度のさらなる見直しが予定されており、今後必要に応じて条例の整備が必要になることが想定されるためである。



# 委員会

## 企画総務 委員会

9月26日、付託された1議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第93号】 豊田市市税条例の一部改正条例

**質問** 対象施設の課税標準の特例割合を検討するにあたり、所管の市民部、建設部、上下水道局だけでなく、総合企画部や総務部も参加して全庁的な視点での協議、調整を行ったようですが、具体的な検討内容はどのようなか。

**答弁** 対象となる2件について、法的規制、義務化の有無、市内の普及状況と目標の普及割合、補助金など普及促進策の有無とその実績額、対象施設を設置したときの概算費用と負担増加の割合、軽減割合の変動額とその影響などをベースに、本市としての政策の必要性と効果、他市の対応状況など総合的に協議した。

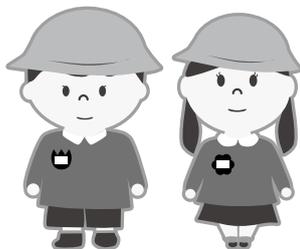


## 予算決算 委員会

9月13日から28日にかけて委員会及び分科会が開催され、付託された補正予算3議案と決算案件14件を審査し、すべての案件を承認及び認定しました。

【第98号】 平成24年度 豊田市一般会計補正予算

**質問** 同じ学区のこども園で空調設備の設置時期が異なることについてどのように検討したか。



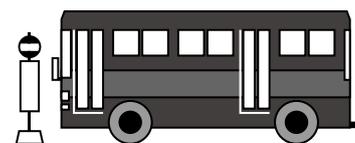
**答弁** 同じ学区の中での検討はしていないが、厳しい財政状況を踏まえ、数年に分けて、費用の平準化ができるようにグループ化した。グループ化に当たっては、園児数の多い園、低年齢児保育や長時間保育を行っている園、より高温になる2階に保育室がある園を優先しており、夏場の保育環境が厳しい園から、順次設置していく。

【承認第3号】 平成23年度 豊田市一般会計決算

**質問** 外国人住民意識調査で、どのようなことが把握できたのか。また、今後どのように活かしていくのか。

**答弁** 今回の調査では、外国人の多国籍化と定住化の傾向が進んでいること、また、保険・医療・福祉・防災を始めとした、行政サービスに関する情報の提供を望む方が増える一方、サービスの認知度は日本人住民と比べて非常に低いことがわかった。今後は情報の多言語化だけではなく、情報の伝達手段への取組が重要だと考えている。調査結果は、各部署の業務の見直しに役立てるとともに、現在策定中の豊田市国際化推進計画の中でも、外国人への行政や生活情報の提供について新たな手段を考えていきたい。

**質問** 地域バスは、その地域の住民の要望で路線が決まった経過があるにもかかわらず、利用率が低く、経費が非常にかかっている。今後の利用促進についてどのように考えるか。



**答弁** 地域バスの運営は地域と共働で進めていくことが重要と考える。アンケート等で地域の意向を分析し、より効率的で地域に貢献できるバス運営をしていきたい。

## 全員協議会

今年の3月定例会において可決した「東日本大震災で発生したがれきの受入れに関する決議」に関して市長に報告を求め、9月19日(水)に全員協議会を開催しました。この中で、国・県の動向を慎重に見極めていたが、最終的に市としてがれきの処理は受け入れない、という判断に至った経緯が報告されました。



9月10日から12日にかけて、24人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する12月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

神谷和利

自民クラブ

- 第7次豊田市総合計画後期実践計画
- 再生可能エネルギーに関する指針
- 放課後対策事業の推進

質問 再生可能エネルギーの指針策定についての取組

再生可能エネルギーの指針策定の取組と、公表に向けた今後の予定は。

答弁 総合企画部

11月までに、インターネットによるモニターアンケートや審議会等において外部からの意見を聞き、議会にも相談しながら決定し公表していく。具体的な事業計画は、現在策定中の後期実践計画の中で整理するが、公共や民間の所有する土地、施設の屋根、駐車場等で太陽光発電に活用できる場所をエネルギー事業者に貸与する仕組みの構築や、小水力、風力発電等の実施者への支援の方法を検討し、速やかに事業展開ができる環境を整えていく必要があると考えている。

大村義則

諸派

- いじめから子どもの命を守るために
- 駅前通り北地区再開発事業

質問 市内小中学校のいじめ調査結果

市内小中学校のいじめ実態の把握について、調査結果はどのようなか。

答弁 学校教育部

本年8月に実施した調査のいじめの認知件数は小学校が682件、中学校が441件、合計1,123件。平成22年度は小学校が1,304件、中学校が343件、合計1,647件。平成23年度は小学校が1,159件、中学校が346件、合計1,505件と、若干減少している。年間調査で「1年間に一度もいじめがない」と回答している学校は、平成22年度は小学校15校、中学校0校、合計15校。平成23年度は小学校26校、中学校2校、合計28校。本年8月の調査では小学校22校、中学校1校、合計23校である。

庄司章

市民フォーラム

- 第7次豊田市総合計画

質問 市長のマニフェストとの関連性

第7次豊田市総合計画の後期実践計画と市長のマニフェストとの関連性は。

答弁 市長

マニフェストでは子育て・子育て環境の向上、健康づくり、防災・防犯の取組の充実、さらには、本市の新たな成長戦略として、都市と農山村との共生を生かしたまちづくり、ものづくり都市・環境モデル都市などの取組の推進について方向を示した。これらの具体的な取組は、後期実践計画の分野別計画の施策体系と連動させていく。また、マニフェストの進捗状況は、毎年度実施する実践計画のローリング結果の中で確認していく。

桜井秀樹

市民フォーラム

- 豊田市教育行政計画

質問 「地域力を活かした学校支援の推進」に向けて設置する学校支援地域本部の体制と取組スケジュール

教育行政計画の重点テーマ「地域力を活かした学校支援の推進」に向けて、学校支援地域本部、地域コーディネーターなどを設置するとある。その役割と取組は。

答弁 教育行政部

学校支援地域本部は、学校の教育活動を支援するため地域住民の学校支援ボランティアなどへの参加をコーディネートするもので、地域コーディネーターは学校支援地域本部の中核的役割を担う存在。学校支援本部設置によって、結果的に学校の負担は軽減できると考えている。学校支援本部はまず浄水地区の学校に設置し、その検証後、他校へ展開していく。

青山さとし

諸派

- 教育環境と小中学校の土曜日授業の可能性
- 豊田マラソン

質問 豊田市版土曜日授業の実施の可能性

豊田市独自の土曜日授業実施の可能性は。

答弁 学校教育部

土曜日に一般的な授業を復活させる予定はないが、「子どもたちを家庭や地域社会に返し、主体的に使える時間を増やす」という学校週5日制の趣旨をふまえ、地域の教育力を生かし、地域社会とのつながりを深めるための取組は、今後も積極的に進めていきたいと考えている。新たな教育行政計画での位置づけ等も含め、子どもの健全な育成を柱に、施策については現在検討中である。

加藤和男

自民クラブ

- 豊田市のまちづくり
- ものづくり中小企業の支援

質問 大学等との連携の状況と課題、今後の展開

現在、本市は人づくり、地域づくり、まちづくりなどを推進するため大学と幅広い連携活動をしており、市政発展に結びつくと思う。連携の状況と今後の課題は。

答弁 総合企画部

中小企業振興、農山村振興、地域づくり、学校教育や生涯学習、共同研究などについて、市内7大学のほか、県内外の20を超える大学と様々な分野で連携をしている。成果をあげている一方、その継続性などに課題があると考えている。今後は、双方にとって有益で、継続性、発展性のある連携を図るため、窓口を設置するなど、具体的に検討していきたい。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

## 一般質問

**稲垣幸保**

自民クラブ

- 児童生徒の体力・運動能力の向上対策

**質問** 教育行政計画等に、  
体力向上対策の明記を

教育行政計画や学校教育の重点目標には、子どもたちの体力・運動能力の向上を明示すべきと考えるが、今後の取組は。

**答弁** 学校教育部

平成23年3月に策定した第2次豊田市生涯スポーツプランに、子どものスポーツ活動の推進を重点取組の一つとして盛り込み、体力・運動能力の向上に向けた具体的な取組を積極的に推進している。さらに、現在策定中の次期教育行政計画の学校教育分野においては、施策の一つに健やかな体の育成を位置づけ、運動を通じた体の育成について取り組んでいくことを明確に示していきたいと考えている。

**山田主成**

自民クラブ

- 企業誘導
- 市街化調整区域の住宅建築における土地利用制限
- 中山間地域の定住施策

**質問** 大規模既存集落の住宅に関する  
条例指定区域制度の検討

大規模既存集落内の未利用地の活用に向けて、条例指定区域制度をどのように検討し、結果はいつ出るのか。

**答弁** 都市整備部

条例指定区域制度の調査・研究については、愛知県の指定区域の基準を検証するとともに、全国116自治体に対して聞き取り調査を実施している。また、土地の利活用を図るべき市街化区域における低・未利用地対策として、現状把握と利用方法の検討のための調査を進めている。今後も市街化調整区域における地区計画制度の運用を進めつつ、条例指定区域制度の導入の適否についても、引き続き研究を進めていく。

**三江弘海**

自民クラブ

- 国道153号伊勢神改良
- 中山間地域の商業機能

**質問** 国道153号伊勢神改良の  
地元の協力体制

国道153号伊勢神改良の地元の協力体制をどのようにしていくのか。

**答弁** 建設部

伊勢神改良事業は、足助地区の明和自治区と稲武地区の小田木町自治区内で展開される。地元や地権者の方々の意見集約・調整を担う組織が必要と考えており、組織の設立に向けた協力をお願いしていく。また、地元の商工会や観光協会などの各種団体においては、地域活性化の立場から、事業促進の応援活動がいただけるよう積極的に働きかけていく。

**根本美春**

諸派

- 市民の命と暮らしを守る医療の充実を
- 要介護認定者に「障がい者控除認定書」の送付を

**質問** 南部地域に救急医療施設が  
必要と考える

南部地域に救急医療施設が不足しており必要と考えるが、市の見解は。

**答弁** 福祉保健部

今後の本市の医療提供体制を維持する上でいくつかの課題があるが、その中で「命を守る救急医療の堅持」が一つの課題であると認識している。救急医療の機能には、一次救急から高度な三次救急まで、いくつかのレベルがある。救急機能の堅持は、本市の今後の医療提供体制を維持していく上で、重要な視点であるため、その在り方については今後も十分検討していく。

**板垣清志**

自民クラブ

- 市民の安全・安心

**質問** 防犯カメラに関する市民の  
声の反映と条例制定時期

防犯カメラの設置・運用ルールの条例化に際して、市民の意見をどのように反映させるのか。また、条例制定の時期について伺いたい。

**答弁** 社会部

防犯カメラは犯罪抑止効果などから市民の関心が高いものの、プライバシー保護などについてどう考えているのかなどの意見収集は重要と考えている。意見の集約方法としては、10月1日から31日までパブリックコメントを実施するほか、商業団体などへも説明を行い意見を収集し、可能なものは条例に反映させたい。なお、制定時期は、来年の3月市議会に議案を上程し、6月1日施行の予定で進めている。

**羽根田利明**

自民クラブ

- 中心市街地の活性化
- 建設業におけるリサイクルの取組

**質問** 集客施設の検討状況と  
今後の進め方

北地区再開発事業における集客施設としてシネマコンプレックス(複合映画館)の誘致は考えられないか伺いたい。

**答弁** 都市整備部

平成20年度の中心市街地来街者意識調査では、「中心市街地の機能・取組に対する評価」として「遊べる・楽しめる施設」に満足しているが34%で、不満が66%。さらに「レジャー機能として望まれるもの」としては全体の55%が「シネコン・映画館」を望んでいる。この結果を踏まえ、シネマコンプレックスは候補施設の一つにはなると考えている。今後は、準備組合が策定中の事業計画の中で、集客施設の事業性などを検討し、具体化していく。



※質問順に掲載しています。

**加藤 昭孝**

自民クラブ

- 青少年センター再整備計画
- 豊田市における総合保健福祉センター機能

**質問** 青少年センターの今後の方向性

青少年センター再整備のスケジュール、立地条件、今後の展開は。

**答弁** 子育て部

今年度中に場所が選定でき、既存施設の改修で済めば2年程度、もし新たな施設を建設するという事になれば4年以上はかかる。また、立地条件は、青少年センターに必要な機能が整っているという前提で、交通利便性がある、まちのにぎわいづくりに活かせる、活動のネットワーク形成が効果的に行えるの3つである。今後は、ハード、ソフトの両面について、関係組織等と十分協議し、青少年に必要な環境を整えていきたい。

**牛田 朝見**

自民クラブ

- 歴史・文化の保存、継承
- 農山村地域の振興

**質問** 歌舞伎伝承館整備における既存施設の有効活用

厳しい財政状況の中で小原歌舞伎伝承館の整備を進めるため、既存施設の活用も1つの方法と考えるが、小原交流館と併設した小原保健センターの活用はできないか。

**答弁** 教育行政部

新たな施設整備が難しい現状、既存施設の活用はこの事業を進める上で有効な方法と考える。具体的な整備の場所は、今後関係部局との調整も必要になってくるが、小原交流館と併設の保健センターは有力な候補と考えている。なお、小原郷土館も、施設の老朽化に伴い、将来、移転させる必要があるため、その移転にあたっては、歌舞伎伝承館と併せて整備を行いたい。

**加茂 みきお**

自民クラブ

- 水害対策と、治水・利水

**質問** 川の整備計画策定の取組

安永川改良の上流域にある準用河川長田川、安永川、五六川、初陣川の整備計画策定は、今後どのように取り組んでいくのか。

**答弁** 建設部

長田川は、将来は都市的土地利用を図る流域と考えており、土地利用計画と併せて河川整備計画を進めていく予定であるため、先行して河川の都市計画決定をすることは考えていない。しかし、準用河川安永川、五六川、初陣川は、安永川都市基盤河川改修事業の進捗状況をにらみながら、将来の事業担保として有効な手法である都市計画決定も視野に入れ、事業手法を検討していく。

**岩月 幸雄**

自民クラブ

- (仮称)第2次豊田市健康づくり計画

**質問** 医療と保健の連携

医療と保健の連携について第2次健康づくり計画でどのように取り組んでいくのか。

**答弁** 福祉保健部

医療機関と連携した重症化予防は効果的な対策と考え、当市では平成19年度から糖尿病の重症化予防を目的として医療機関に豊田市保健所管内栄養士会の管理栄養士を紹介するシステム「栄養サポート事業」を実施しているが、利用は広がっていない。医療と保健の連携、医師を中心とした様々な医療従事者の連携は重症化予防のために非常に有用であると考えている。次期計画でも多様な連携は基本方針の一つであり、今後も医療機関等関係機関に働きかけていきたい。

**山野辺 秋夫**

市民フォーラム

- 豊田市の産業振興
- 豊田市が持続的に発展する道路整備

**質問** 豊田岡崎線の位置付けと今後の進め方

最近都市計画決定した豊田岡崎線は、どのような位置付けで、今後どのように進めていくのか。

**答弁** 建設部

豊田岡崎線は、矢作川渡河部および周辺地域における円滑な交通の確保や、豊田・岡崎両市の活発な都市間交流を図るために計画された路線。新規路線であるため、直ちに事業着手できるような状況にないが、整備予定地は矢作川水系の河川環境管理の観点から非常に重要な地点であり、環境や生態系保全の対策を十分に検討する必要がある。そのため、今年度より豊田市と岡崎市が連携し、河川環境調査を行う予定である。

**小島 政直**

公明党

- 大規模災害発災後における迅速なる行政対応

**質問** 被災者・行政の双方にメリットのあるシステムの構築や導入の考え

被災者・行政の双方にメリットのあるシステムの構築や導入は必要であると思うが、今後の方向性は。

**答弁** 社会部

本市の災害情報支援システムには、「被災者支援システム」や「GIS搭載型罹災証明システム」にない独自の機能があるが、逆に「被災者支援システム」「GIS搭載型罹災証明システム」にあって本市のシステムにない機能もある。当面は現在のシステムを運用し、他の自治体の動向や「被災者支援システム」「GIS搭載型罹災証明システム」を参考としながら、被災者・行政の双方にメリットのあるシステムとなるよう取り組んでいく。



## 一般質問

**吉野博子** 市民フォーラム

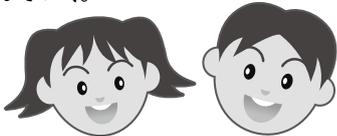
●豊田市子ども条例の成果と課題

**質問** 活動報告書を子ども向けに

とよた子ども権利相談室が毎年まとめている活動報告書の簡易版を、子ども向けにわかりやすく発行してはどうか。また、権利相談室だより「KYUSAI」を活用して、報告書の内容を連載する方法もあるのではないか。

**答弁** ــــــــــــــــ 子ども部

今後は活動報告書の簡易版の作成や、権利相談室だより「KYUSAI」を活用して、子どもはもちろん、保護者や一般市民にも、権利相談室の活動内容をわかりやすく伝え、PRできるように取り組んでいく。



**安藤康弘** 市民フォーラム

●犯罪抑止に向けた安全・安心なまちづくり

**質問** 防犯意識の現状と分析

平成23年度に実施した防犯に対する意識調査結果から、市民の防犯意識の現状と、その分析は。

**答弁** ــــــــــــــــ 社会部

平成23年度の防犯に対する意識調査では、調査票を3,790枚配布し、2,813人(回収率74.2%)から回答を得た。調査結果を見ると、犯罪に対して不安を感じている人は約56%で、中でも「空き巣被害」に不安を感じている人が約79%と最も高くなっている。しかし、「常に戸締まりをしている人」は36.7%にとどまり、「戸締まり以外の対策はしていない人」の割合は53.1%もある。個人による効果的な防犯対策が進んでいないと感じられる。

**田代 研** 公明党

●高齢化施策

**質問** 洋式トイレを増やす考え

市民文化会館のトイレは和式が多く洋式が少ない。この現状を踏まえ、高齢者にやさしい洋式トイレを増やす考えはあるか。

**答弁** ــــــــــــــــ 教育行政部

市民文化会館の改修工事は、開館後31年を経過して建物の老朽化が進む中、厳しい財政状況から、これまでは施設の機能を維持するための改修工事を優先的に行ってきた。しかし、これからは、機能維持のための改修だけではなく、快適性や利便性への対応も大切であると考えている。トイレの洋式化も、高齢者の負担軽減等に配慮して、今後、しっかりと利用者ニーズを確認しながら、その対応を検討していきたい。

**山口光岳** 自民クラブ

●安心・安全なまちづくりに向けた防災・減災  
●楽しくて魅力ある授業づくり

**質問** デジタル教科書の利活用の状況

市全体におけるデジタル教科書の利活用の状況は。

**答弁** ــــــــــــــــ 学校教育部

デジタル教科書の利用状況は、1校あたり5月が60時間、6月が86時間で1.4倍に伸びている。教師はデジタル教科書の使い方を自分のコンピュータの中で事前に研究し、授業で積極的に活用へと結びつけている。授業では子どもが食い入るように電子黒板に映されたデジタル教科書を見つめたり、子ども自身がデジタル教科書を使って説明をしたりする場面があった。また、外国籍の子どもたちも、集中して授業に取り組む様子が見られ、デジタル教科書の有効性を感じることができる。

**佐藤恵子** 公明党

●市民と取り組む健康づくり  
●動物愛護の取組

**質問** 動物愛護に関する条例の制定

殺処分ゼロを目指す方策の一つとして、猫の室内飼育や所有者明示等を義務化するなどを含めた条例制定に対する考えを伺いたい。

**答弁** ــــــــــــــــ 福祉保健部

市として特色のある条例の制定にあたっては、多くの市民の方々に条例の内容をしっかりとご理解していただく必要がある。猫の室内飼育等の動物の正しい飼い方を理解いただくには、ふれあい教室や、室内飼育のモデル設備を利用した飼い方教室等の開催が重要であり、そのための拠点の整備が必要である。条例の制定は拠点の整備にあわせて検討していく。

**岡田耕一** 諸派

●本市におけるPCB廃棄物処理の今後  
●豊田市美術館における作品収集の考え方

**質問** 美術館所蔵作品の処分方針

豊田市美術館では購入1,152点 購入総額 約142億円 寄贈2,057点と既に十分な作品を収集している。所蔵作品を処分・売却し、その財源によって新たな作品を取得する考えも必要ではないか。

**答弁** ــــــــــــــــ 教育行政部

平成3年の収集開始以来、収集方針に従い必要な美術品を収集している。これらはいずれも貴重な市民の財産であり、本市の美術文化の醸成に欠くことのできない作品ばかりである。美術館としては、現在、処分ならびに処分の方針、指針などの策定の考えはない。



# 地域市議会報告会・市民シンポジウムを開催します

## 地域市議会報告会

■日 時／平成24年11月3日(土)  
午後2時～3時30分(終了予定)

■場 所／(2会場同時開催)

《高岡会場》

高岡コミュニティセンター

ふれあいホール

【定員:500人】

(豊田市高岡町長根51)

《小原会場》

小原交流館

ホール

【定員:350人】

(豊田市永太郎町落681-1)

■内 容／★9月定例会報告/質疑 ★意見交換



■昨年の様子

## 市民シンポジウム

■日 時／平成24年11月10日(土)  
午後2時～4時(終了予定)

■場 所／

高橋コミュニティセンター

大会議室

【定員:300人】

(豊田市東山町2-1-1)



(湯浅景元氏)

■テーマ／健康づくり

～自分で健康をよぼう～

■内 容／第1 基調講演

「眠る、食べる、そして歩く」

中京大学教授 湯浅景元 氏

第2 パネルディスカッション

〈コーディネーター〉湯浅景元 氏

〈パネリスト〉豊田加茂医師会、健康保健組合、

(予定) 豊田市健康づくり協議会、

豊田市、市議会

※どなたでもご参加いただけます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。(申込不要 先着順)

## ○交通事故防止を目指して



■市役所南庁舎前、国道153号沿いでの活動の様子

9月7日の本会議終了後、市議会議員による交通安全啓発活動を実施しました。一人でも多くの市民に交通安全の意識を高めてもらおうと、市長はじめ特別職・幹部職員の参加も得て街頭活動に取り組みました。

## ○藤岡中学校生徒が議会を傍聴



■熱心に傍聴をする藤岡中学校の生徒のみなさん

9月10日、藤岡中学校3年生の生徒129名が社会科の授業の一環として9月定例会の傍聴に訪れ、一般質問を熱心に聞いていました。豊田市議会では、わかりやすく開かれた議会を目指して、議会傍聴や議場見学の受け入れを行っています。

## ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

**豊田市議会事務局**

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)

### ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

インターネット録画放送

豊田市議会 検索 <http://toyota-shigikai.jp>

「市議会だより」のバックナンバーや詳しい会議録もご覧いただけます。

「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



F M ラ ジ オ で

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継  
チャンネル/78.6MHz

### 12月市議会定例会の予定

12月市議会定例会は  
12月7日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「9月市議会定例会号」です。

※このページは裏面です。  
本紙から抜き取ってご覧ください。



凸版/リブ配合率100%再生紙を仕様



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています